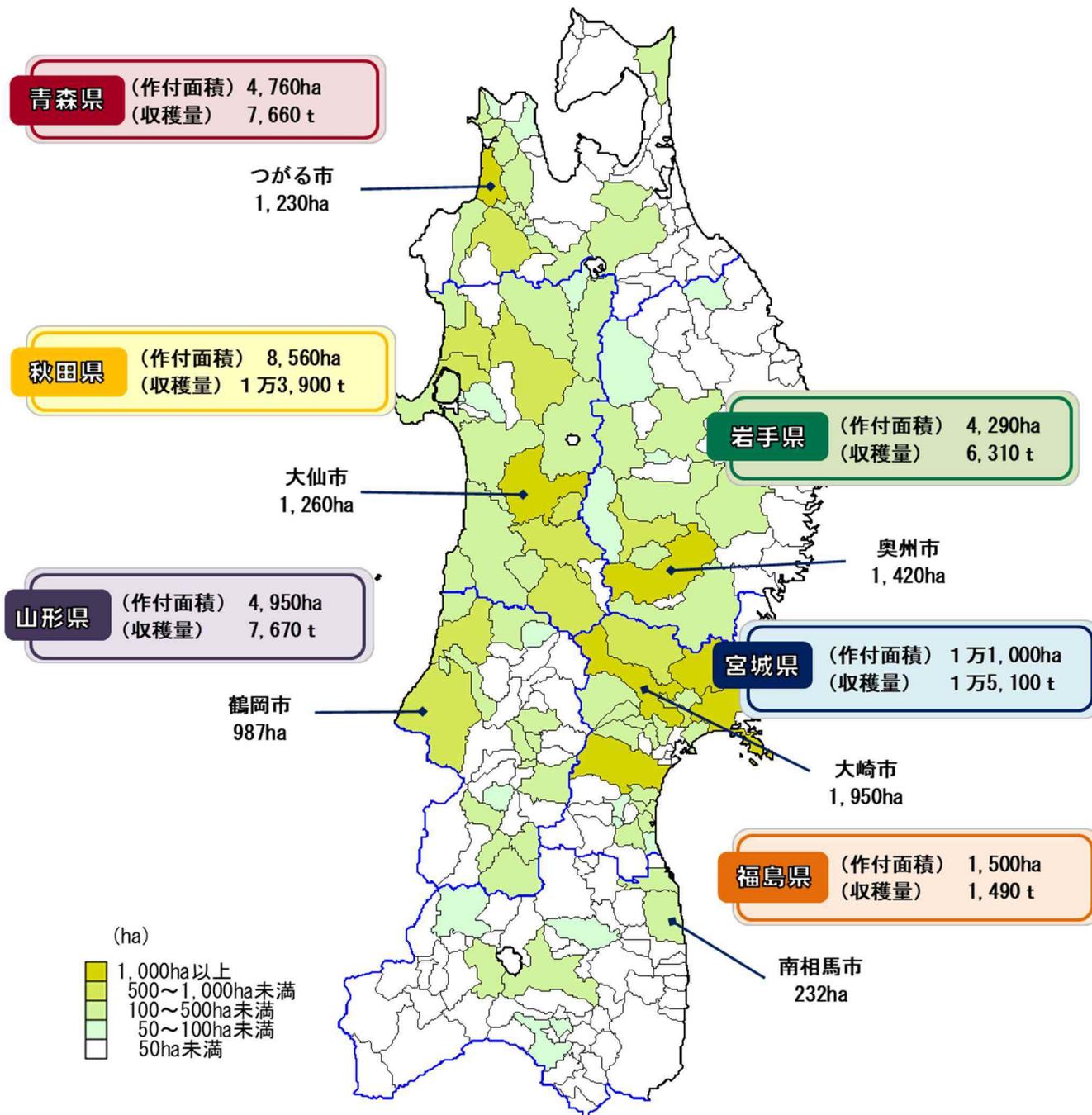


図表 参2-26 大豆（乾燥子実）の作付面積（令和元（2019）年産）

東北（作付面積）3万5,100ha
 （収穫量）5万2,100t

〔 全国（作付面積）14万3,500ha
 （収穫量）21万7,800t 〕



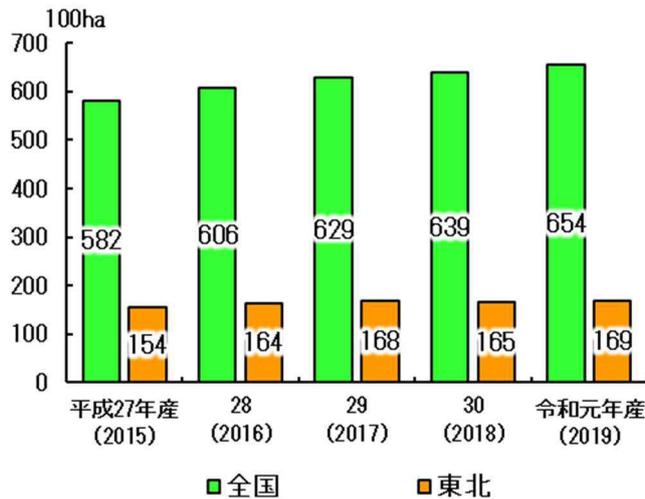
資料：農林水産省「作物統計」

- 注：1) 乾燥子実とは、食用を目的に未成熟（完熟期以前）で収穫されるもの（えだまめ等）を除いたもの
 2) 個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、一部の市町村の大豆（乾燥子実）作付面積を公表していないことから、当該市町村は白色としている。
 3) 表示した市町村は、各県内で大豆（乾燥子実）の作付面積が公表されている市町村で最も大きい市町村である。

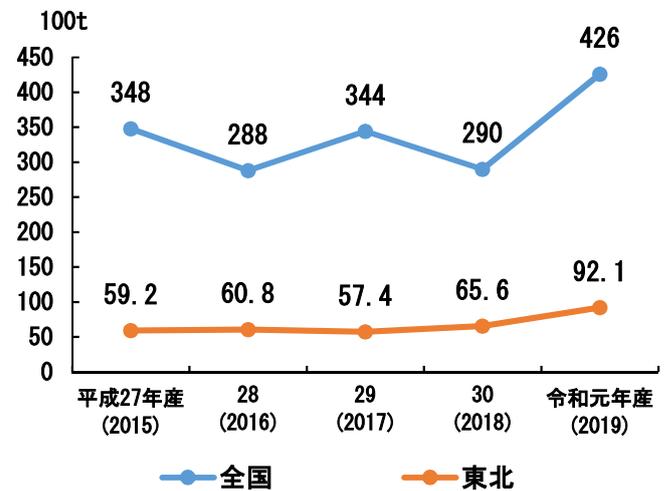
(そば作付面積、収穫量は前年産より増加)

- 東北における令和元(2019)年産のそば(乾燥子実)の作付面積は、前年産に比べて2.4%増加して1万6,900haとなりました(図表 参2-27)。
- 収穫量は、作付面積が増加したことに加え、作柄が良かったことにより、前年産に比べて40.4%増加し、9,210tとなりました(図表 参2-28)。
- 県別にみると、山形県の作付面積は5,260haで最も多く、東北の31.1%を占めており、次いで秋田県の3,770ha、福島県の3,740haの順となっています(図表参2-29)。

図表 参2-27 そば(乾燥子実)作付面積の推移(全国・東北)



図表 参2-28 そば収穫量の推移(全国・東北)



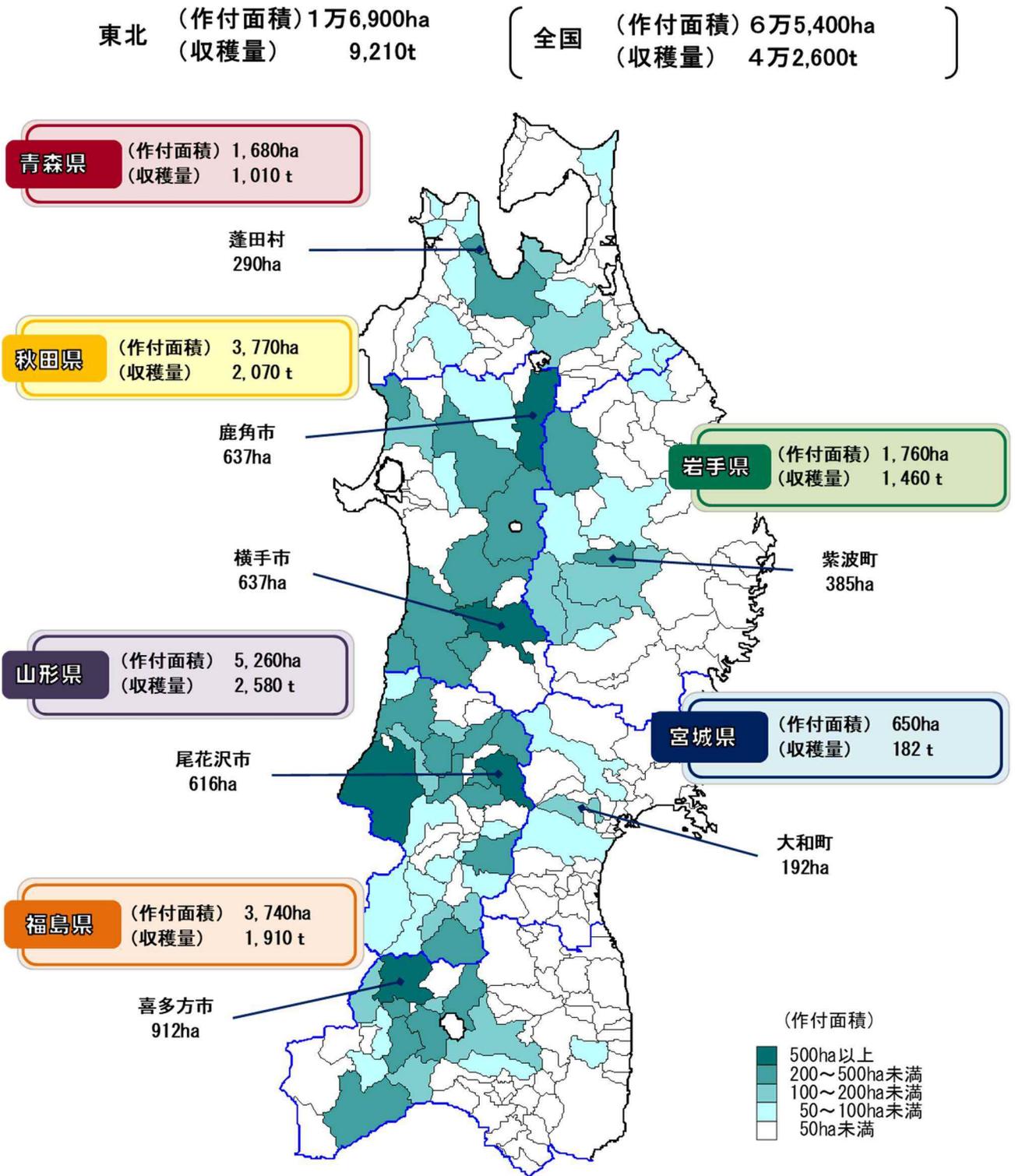
図表 参2-29 そば(乾燥子実)作付面積の推移(県別)



資料：農林水産省「作物統計」

注：作付面積の推移(全国・東北)の東北の値と作付面積の推移(県別)の各県の値は、データごとに四捨五入するため、一致しない場合がある。

図表 参 2-30 そば（乾燥子実）の作付面積（令和元（2019）年産）



資料：農林水産省「作物統計」

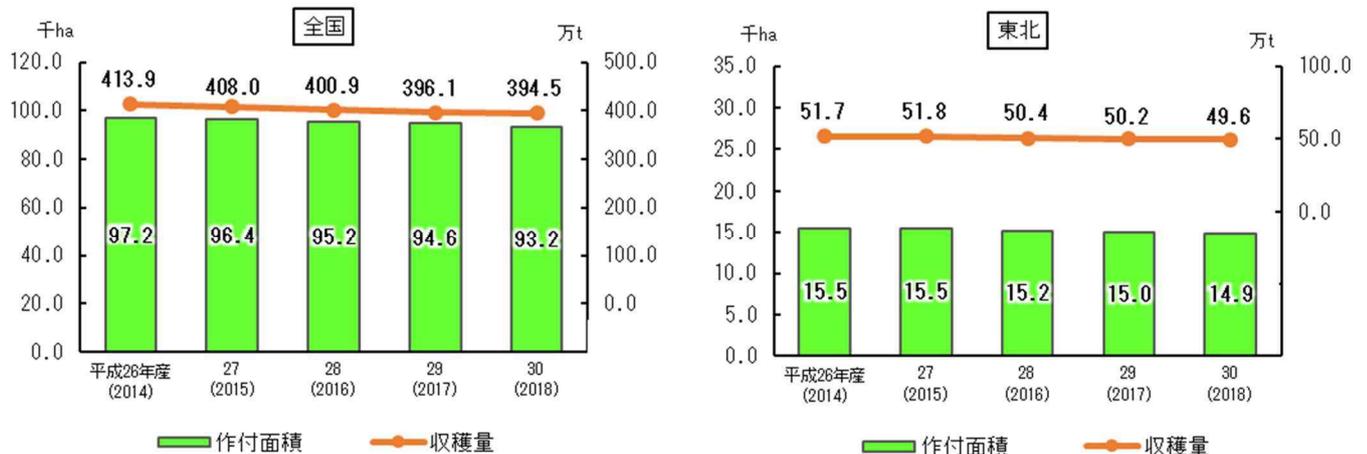
- 注：1）乾燥子実とは、食用を目的に作付けし収穫した子実であって、景観形成用として作付けしたもの等を除く。
 2）個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、一部の市町村のそば（乾燥子実）作付面積を公表していないことから、当該市町村は白色としている。
 3）表示した市町村は、各県内でそば（乾燥子実）の作付面積が公表されている市町村で最も大きい市町村である。

4. 主要野菜

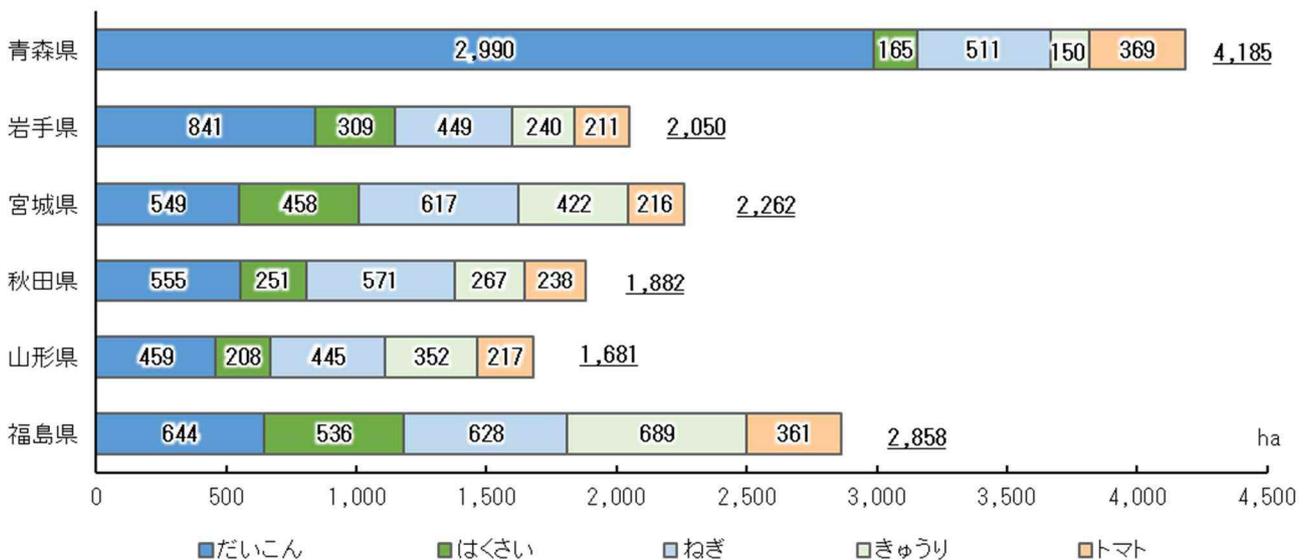
(主要野菜作付面積、収穫量は、前年産より減少)

- 東北における平成30(2018)年産の主要野菜(東北6県が主産県となっている5品目)の作付面積は、前年産に比べ減少し、1万4,900haとなりました。また、主要野菜の収穫量も、前年産に比べ減少し、49万6,000tとなりました(図表参2-31)。
- 主要野菜の作付面積を県別にみると、青森県が4,185haで最も大きく、次いで福島県の2,858ha、宮城県が2,262haとなっています(図表参2-32)。
また、品目別作付面積の構成をみると、青森県では7割以上をだいこんが占めており、福島県ではきゅうり、宮城県ではねぎの作付けが多くなっています。

図表参2-31 主要野菜の作付面積・収穫量の推移(全国・東北)



図表参2-32 主要野菜の作付面積(県別、平成30(2018)年産)



資料：農林水産省「野菜生産出荷統計」

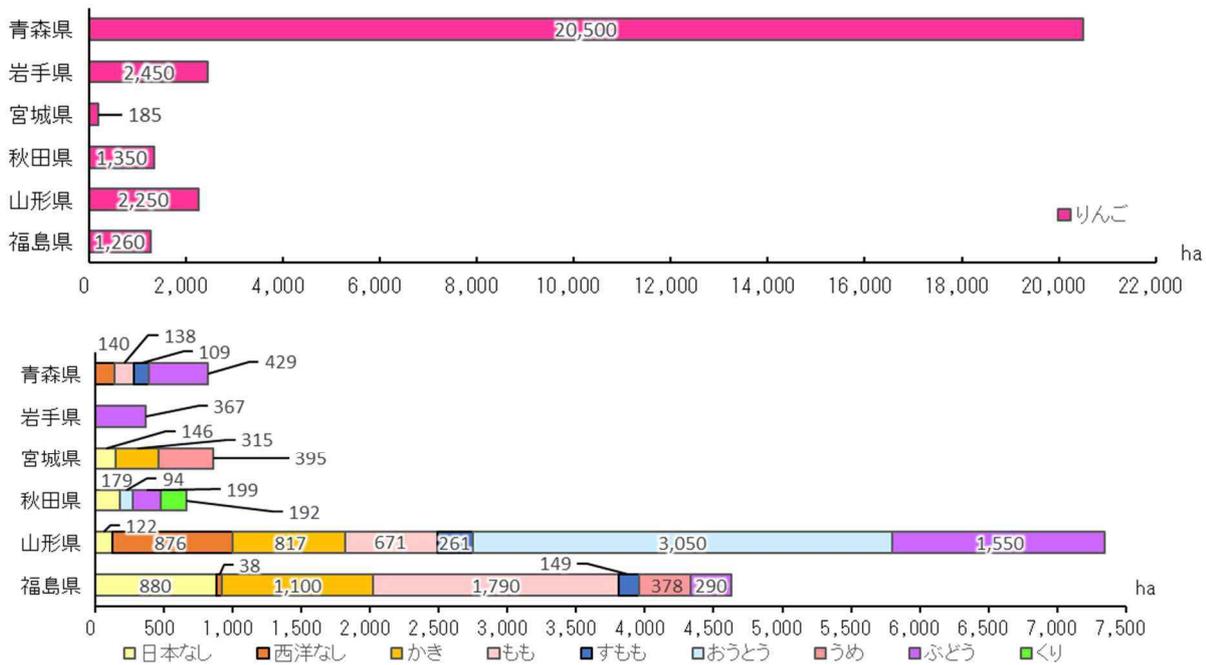
- 注：1) この項における主要野菜とは、指定野菜14品目(だいこん、にんじん、ばれいしょ、さといも、はくさい、キャベツ、ほうれんそう、レタス、ねぎ、たまねぎ、きゅうり、なす、トマト及びピーマン)のうち、にんじん、ばれいしょ、さといも、キャベツ、ほうれんそう、レタス、たまねぎ、なす及びピーマンを除く5品目(東北が主産県となっているもの)である。
- 2) 主要野菜の作付面積及び収穫量は、品目別公表値を積み上げたものである。

5. 主要果樹

(収穫量の全国に占める割合の高いおうとう、西洋なし、りんご)

- 令和元(2019)年の主要果樹の栽培面積を県別にみると、青森県はりんご、山形県はおうとう、福島県はももの栽培が多くなっています(図表 参2-33)。
- 平成30(2018)年産の主要果樹収穫量の全国に占める割合を県別にみると、青森県のりんごが58.9%、山形県の西洋なしが65.8%、同じく山形県のおうとうが78.5%を占めており、全国第1位の産地となっています(図表 参2-34)。

図表 参2-33 主要果樹の栽培面積(主産県、令和元(2019)年)



資料：農林水産省「耕地及び作付面積統計」

- 注：1) この項における主要果樹とは、りんご、日本なし、西洋なし、かき、もも、すもも、おうとう、うめ、ぶどう及びくりの10品目である。
 2) 主要果樹の県別栽培面積の掲載品目は、主産県を対象に実施した調査に該当した品目である。

図表 参2-34 主要果樹の収穫量と全国に占める割合(主産県、平成30(2018)年)

区分	りんご		日本なし		西洋なし		かき		もも		すもも		おうとう		うめ		ぶどう		くり	
	収穫量 t	全国に 占める 割合 %																		
全 国	756,100	100.0	231,800	100.0	26,900	100.0	208,000	100.0	113,200	100.0	23,100	100.0	18,100	100.0	112,400	100.0	174,700	100.0	16,500	100.0
青森県	445,500	58.9	...	nc	1,850	6.9	...	nc	...	nc	1,060	4.6	...	nc	...	nc	4,490	2.6	...	nc
岩手県	47,300	6.3	...	nc	3,250	1.9	...	nc												
宮城県	2,730	0.4	2,750	1.2	...	nc	1,020	0.5	...	nc	...	nc	...	nc	1,510	1.3	...	nc	...	nc
秋田県	23,000	3.0	2,280	1.0	...	nc	...	nc	...	nc	...	nc	413	2.3	...	nc	1,940	1.1	158	1.0
山形県	41,300	5.5	1,510	0.7	17,700	65.8	6,860	3.3	8,070	7.1	2,000	8.7	14,200	78.5	...	nc	16,100	9.2	...	nc
福島県	25,700	3.4	17,100	7.4	636	2.4	9,340	4.5	24,200	21.4	737	3.2	...	nc	1,090	1.0	2,640	1.5	...	nc

資料：農林水産省「果樹生産出荷統計」

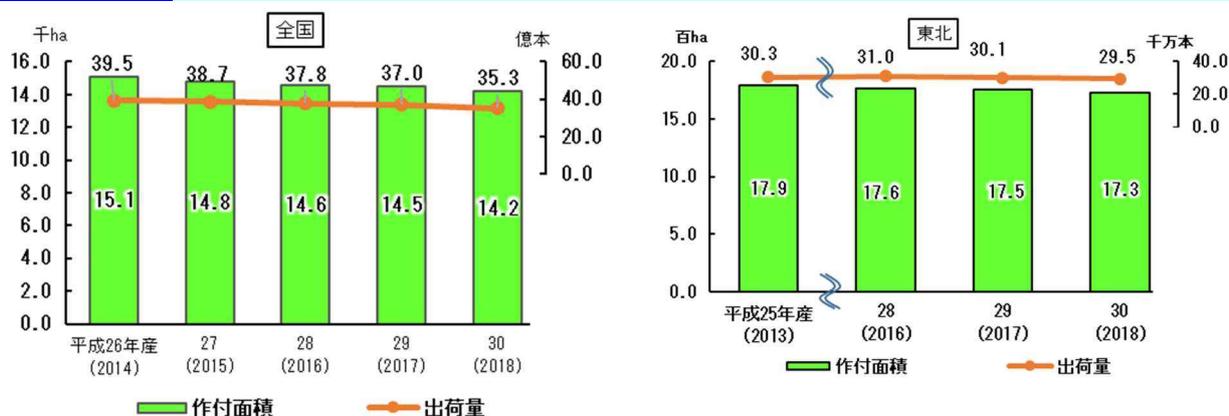
- 注：1) この項における主要果樹とは、りんご、日本なし、西洋なし、かき、もも、すもも、おうとう、うめ、ぶどう及びくりの10品目である。
 2) 図表中の「…」は調査を欠くもの
 3) 図表中の「nc」は計算不能なもの

6. 花き（切り花類）

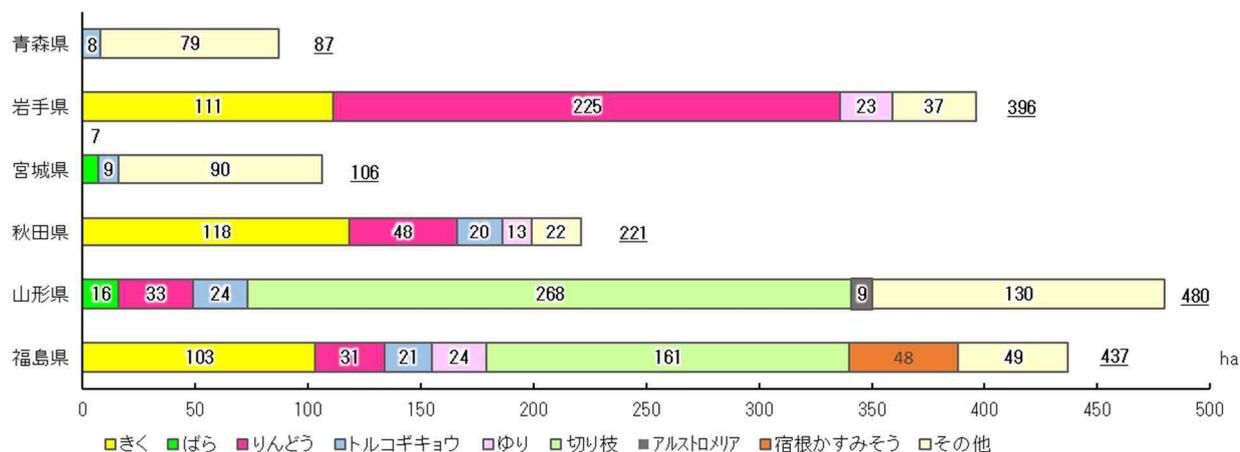
（切り花類の作付面積、出荷量は、前年産より減少）

- 東北における花き（切り花類）の作付面積は、平成30(2018)年産では、1,727haとなりました（全国の12%）。各県別にみると、山形県（480ha）が最も大きく、次いで福島県（437ha）、岩手県（396ha）となっています（図表参2-35、36）。
- 品目別作付面積を県別にみると、作付面積の多い品目として秋田県のきく（118ha）、岩手県のりんどう（225ha）、山形県の切り枝（268ha）となっており、各県ごとに特色がみられます（図表参2-36）。

図表 参2-35 切り花類の作付面積・出荷量の推移（全国・東北）



図表 参2-36 切り花類の作付面積（県別、平成30(2018)年産）



資料：農林水産省「花き生産出荷統計」

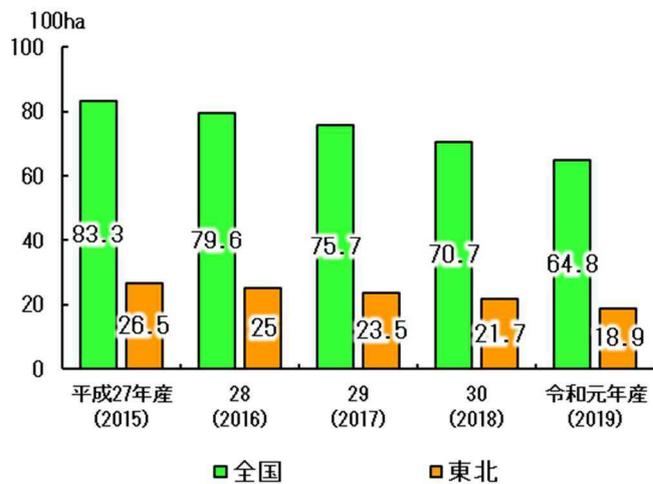
- 注：1）この項における切り花類とは、きく、カーネーション、ばら、りんどう、洋ラン類、スターチス、ガーベラ、トルコギキョウ、ゆり、アルストロメリア、切り葉、切り枝及び宿根かすみそうの13品目である。
- 2）切り花類の品目別作付面積割合は、四捨五入の関係から100%にならない場合がある。
- 3）切り花類の県別作付面積の品目は、主産県を対象に実施した調査に該当した項目であり、その他は切り花類計からこの該当品目を差し引いたものである。

7. 地域特産農作物

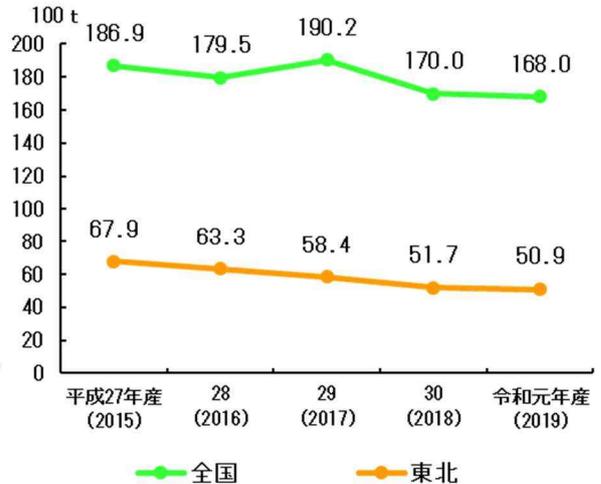
(葉たばこの収穫面積、収穫量は、前年産より減少)

- 東北における葉たばこの収穫面積は、令和元(2019)年産では、生産者の高齢化や後継者不足による廃作のため、前年産に比べて12.9%減少して1,892haとなりました(図表 参2-37)。
- また、葉たばこの収穫量は、好天に恵まれたため作柄は良く、前年産に比べて1.5%の減少にとどまり、5,094tとなりました(図表 参2-38)。

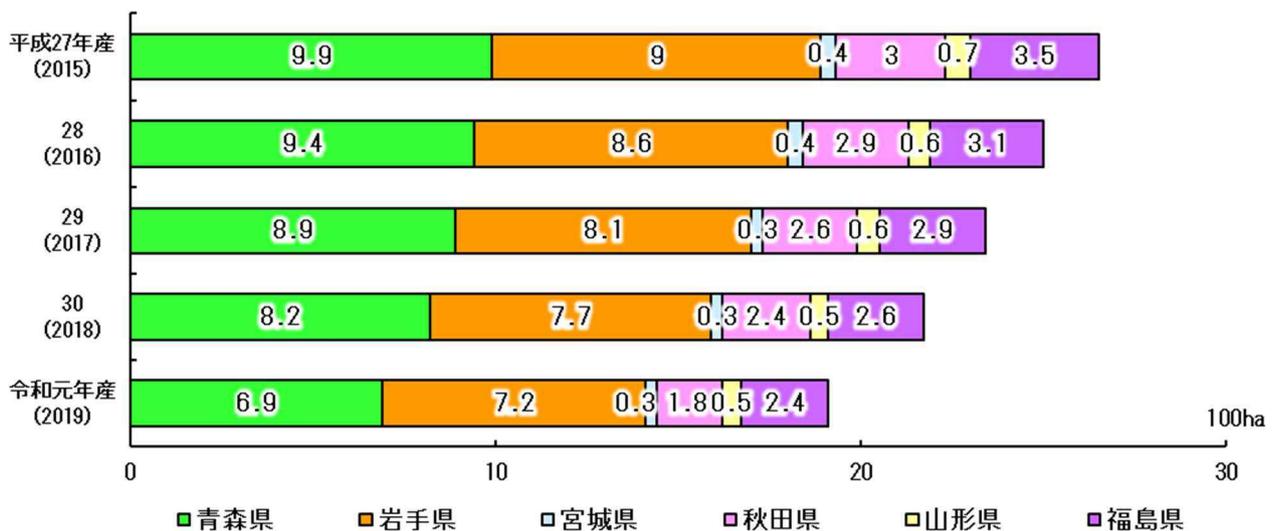
図表 参2-37 葉たばこ収穫面積の推移
(全国・東北)



図表 参2-38 葉たばこ収穫量の推移
(全国・東北)



図表 参2-39 葉たばこ収穫面積の推移 (県別)



資料：全国たばこ耕作組合中央会調べ（全国）、日本たばこ産業株式会社調べ（東北及び各県）

注：収穫面積の推移（全国・東北）の東北の値と収穫面積の推移（県別）の各県の値は、データごとに四捨五入するため、一致しない場合がある。